

## 6月3日(土) お天気：☔→☀ 植地から5週間

昨日から続いていた台風2号の接近と活発な梅雨前線による大雨・強風がゴーヤにも直撃しました。四郎が支柱ごと倒れていたため、麻紐で支柱に結びつけました。大雨・強風に負けずに、ゴーヤは一生懸命育ってくれていました。

ネットの最下部から一郎は80センチ、二郎は30センチ、三郎は55センチ、四郎は30センチ、五郎は60センチまで伸びました。一郎・三郎・五郎はある程度伸びたので、親ツルの摘心を行いました。親ツルの摘心をすることで、小ツルに養分が行き届き、上に伸びるだけでなく、横にも大きく成長をしていきます。その結果、高密度の立派な緑のカーテンが出来ることが期待できます。



摘心

## 6月18日(水) お天気：☀ 植地から7週間と1日

五郎から雄花が開花しました。とても鮮やかな黄色のお花です。花の中央が黄色であることから、雄花だと分かります。雄花は花粉がついているので、黄色の雄しべがあります。雌花は、黄緑色の雌しべがあります。

ネットの最下部から、一郎は110センチ、三郎が70センチ、四郎が60センチ、五郎が70センチまで伸びました。二郎は葉や根元の茎が薄茶色で全体的に萎れて元気がない様子です。水をたっぷりあげ、しばらく様子を見守りたいと思います。



開花 第1号

## 6月24日（土）お天気：☀ 植地から8週間

ネットの最下部から**一郎**が130センチ、**五郎**が80センチまで伸びました。そして育ちが心配だった**二郎**に加え、**三郎**は部分的に、**四郎**も全体的に薄茶色で萎れている様子です。今後の成長が見込めないと判断し、残念ですが**二郎**・**三郎**・**四郎**を根っこから撤去しました。



撤去した**三郎**の根っこ部分

恐らく立枯病たちかれびょうではないかと考えました。この病気の原因は、土の中に多湿を好む糸状菌しじょうきん（カビの一種）があることです。

新たなゴーヤの株を植地するため、牛糞たい肥・苦土石灰・化成肥料で再度土壌づくりを行いました。7月1日（土）に新しいゴーヤの苗を植える予定です。

## 7月1日（土）お天気：☂

（**一郎**：植地から9週間、**二郎**・**三郎**・**四郎**・**五郎**・**六郎**：植地スタート）

新しいゴーヤの植える日です。**五郎**の様子を見守っていましたが、**二郎**たち同様に今後の成長が見込めないため、残念ですが根っこから撤去しました。そして**二郎**・**三郎**・**四郎**・**五郎**の跡地に、新しいゴーヤの株を5株植えました。今回は緑色のゴーヤの苗ですが、今度こそは元気に大きくなってくれることを願っています。また、全部で株が6株となったので、6番目の株に**六郎**と名付けました。

その一方で、**一郎**はネットの最下部から170センチと順調に伸びています。また、雌花も確認ができ、雨で虫が少なかったため、人工授粉を行いました。成功すれば、結実第1号となります。

## 7月4日（火）お天気：☀

（**一郎**：植地から9週間と3日、**二郎**・**三郎**・**四郎**・**五郎**・**六郎**：植地から3日）

先日、人工授粉した雌花が結実しました。これから更に実が大きくなり、私たちがスーパーで目にするゴーヤに成長していきます。昨年度の緑のゴーヤの実と比べると、やはり色がやや白いことが分かります。



昨年度の緑のゴーヤ 結実



今回の白のゴーヤ 結実

ネットの最下部から、**一郎**は180センチ、**二郎**・**三郎**は20センチ、**四郎**は30センチ、**五郎**は40センチ、**六郎**は50センチとなっています。**二郎**・**三郎**・**四郎**・**五郎**・**六郎**に関しては、

## 7月12日（水）お天気：☀

（**一郎**：植地から10週間と4日、**二郎**～**六郎**：植地から2週間と4日）

**五郎**・**六郎**の雌花が結実しました。

ネットの最下部から、**一郎**は210センチ、**二郎**は70センチ、**三郎**は60センチ、**四郎**は90センチ、**五郎**は130センチ、**六郎**は140センチとなっています。新しく植地した**二郎**～**六郎**も順調に成長をしていることに嬉しく感じます。また、**一郎**のゴーヤの実も大きくなっています。



**五郎**の結実



**一郎**のゴーヤの実